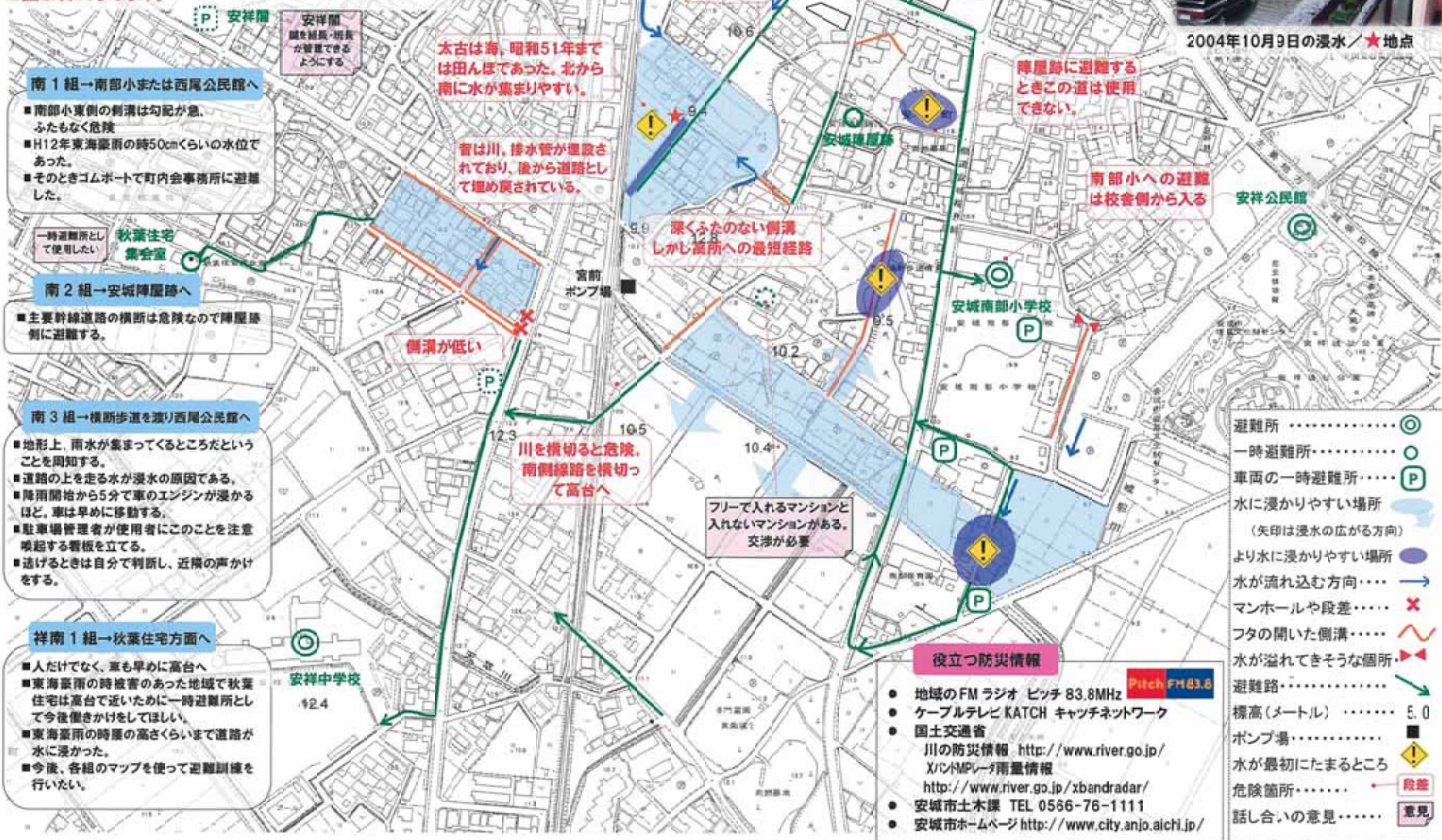


このマップは、水害時に気をつける点や取るべき行動について、組ごとにまとめたマップです。よく目にするところに貼り、ふだんから家族や友人等と話し合ひましょう。



2004年10月9日の浸水/★地点



**南1組→南部小または西尾公民館へ**  
■南部小東側の側溝は勾配が急、ふたもなく危険  
■H12年東海豪雨の時50cmくらいの水位であった。  
■そのときゴムボートで町内会事務所に避難した。

**南2組→安城陣屋跡へ**  
■主要幹線道路の横断は危険なので陣屋跡側に避難する。

**南3組→横断歩道を渡り西尾公民館へ**  
■地形上、雨水が集まってくるところだということを知り、  
■道路の上を走る水が浸水の原因である。  
■降雨開始から5分で車のエンジンが浸かるほど、車は早めに移動する。  
■駐車場管理者が使用者にこのことを注意喚起する看板を立てる。  
■逃げるときは自分で判断し、近隣の声かけをする。

**祥南1組→秋葉住宅方面へ**  
■人だけでなく、車も早めに高台へ  
■東海豪雨の時被害のあった地域で秋葉住宅は高台で近いために一時避難所として今後働きかけをしてほしい。  
■東海豪雨の時屋の高さくらいまで道路が水に浸かった。  
■今後、各組のマップを使って避難訓練を行いたい。

太古は海、昭和51年までは田んぼであった。北から南に水が集まりやすい。

音は川、排水管が埋設されており、後から道路として埋め戻されている。

深くふたのない側溝しかし、避難所への最短経路

側溝が低い

川を横切ると危険、南側線路を横切って高台へ

フリーに入れるマンションと入れないマンションがある。交渉が必要

もともと川で後から管を埋めた。

陣屋跡に避難するときこの道は使用できない。

南部小への避難は校舎側から入る

- 避難所 ..... ◎
- 一時避難所 ..... ○
- 車両の一時避難所 ..... P
- 水に浸かりやすい場所  
(矢印は浸水の広がる方向)
- より水に浸かりやすい場所
- 水が流れ込む方向
- マンホールや段差
- フタの開いた側溝
- 水が溢れてきそうな箇所
- 避難路
- 標高(メートル) ..... 5.0
- ポンプ場
- 水が最初にたまる場所
- 危険箇所
- 話し合いの意見

**役立つ防災情報**

- 地域のFM ラジオ ピッチ 83.8MHz **Pitch FM 83.8**
- ケーブルテレビ KATCH キャッチネットワーク
- 国土交通省  
川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>  
XバンドMPレーダ雨量情報  
<http://www.river.go.jp/xbandradar/>
- 安城市土木課 TEL 0566-76-1111
- 安城市ホームページ <http://www.city.anjo.aichi.jp/>